

## 大阪府障がい者自立支援協議会による地域支援の取り組みについて

大阪府障がい者自立支援協議会では、平成 29 年度より、地域自立支援協議会を核にした「地域ネットワークの構築」を軸に、地域自立支援協議会が抱える課題の解決に向け、大阪府障がい者相談支援アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）との連携による地域支援の取り組みを実施している。

＜参考：大阪府障がい者相談支援アドバイザーとは＞

H19 に地域自立支援協議会の設置支援を目的として創設。その後、各市町村における自立支援協議会設置や基幹相談支援センター設置を受け、基幹相談支援センターに対する後方支援や計画相談の完全実施に向けた後方支援等を目的に、地域の相談支援体制づくり、相談支援専門員のスキルアップ、協議会活性化のための助言等を行っている。

### 1 アドバイザー派遣実施状況報告

#### ○ 派遣状況

大阪府障がい者自立支援協議会での決議に基づき、令和 3 年 11 月より岸和田市、令和 4 年 11 月より羽曳野市、同年 12 月より泉大津市・忠岡町へアドバイザー派遣を開始しています。派遣の実施状況については「別紙」のとおり。

### 2 アドバイザー派遣を実施した地域自立支援協議会に対する今後の方針（案）

「別紙」の実施状況報告を踏まえ、3つの地域自立支援協議会に対する今後の方針（案）は以下のとおり。

市町村	派遣開始	派遣目的	今後の方針 (案)
岸和田市	R3 年 11 月	相談支援体制の再構築を契機とした協議会の機能理解及び再構築	派遣終了
羽曳野市	R4 年 11 月	基幹 C 設置に伴う相談支援体制の整備 相談支援専門員のスキルアップ	派遣継続
泉大津市・ 忠岡町	R4 年 12 月	協議会の目的や役割・機能の理解促進 基幹 C 設置を含む相談支援体制の見直し 地域課題抽出及び課題解決の仕組みの構築	派遣継続

大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣 実施状況報告  
(令和3年度派遣決定分)

	岸和田市	派遣期間	令和3年11月～ 令和5年3月
目的派遣	協議会の運営支援		
当初派遣決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状の課題として、運営会議が、地域課題について振り分けをするが、その課題の認識が不明確なまま定例会で検討されることや、会議自体が報告会になっている側面もあり、課題をあげても問題が大きすぎると、解決の方向性を示すことができないことがあげられる。現状地域課題の抽出と解決に向けた協議の場である協議会を十分に活用する流れができていない実情にある。</li> <li>○ また、令和3年10月から相談支援体制の再構築を行うにあたり、市内を6圏域に分けて、圏域ごとに相談支援事業所に委託して、各圏域に住む市民がより身近な地域で、障がいの種別に関わらず利用できる相談窓口を整備することとなった。喫緊の課題としてその運営があげられている。</li> <li>○ そこで、相談支援体制の再構築を契機に、協議会の参画者全員がその機能を十分に理解し、地域の支援レベルを向上させるという共通認識を持って主体的な参加が出来るよう、協議会の仕組みや再構築等を図る。</li> </ul>		
具体的な支援内容	<p>(令和3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協議会全体の運営や方向性を協議している運営会議に参画し、基幹相談支援センターから協議会の現状及び課題を確認するとともに、実際の運営会議の様子や議論の雰囲気等を把握した。</li> <li>○ 運営会議の構成員に対し、他市の地域自立支援協議会の資料を参考にしつつ、協議会の課題に対する共通認識を持つことの重要性を伝えるとともに、協議会の運営方法等に対して意見等を書面にて提出するよう助言した。</li> <li>○ 構成員から提出された協議会への意見等の内容を確認するとともに、運営会議において、協議会の現状分析をより深めるため、各部会の状況及び事業所・業務上の課題を部会の参加者から意見聴取することを提案した。</li> </ul> <p>(令和4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営会議において、議論内容やスケジュールの見える化を図るよう提案を行うとともに、運営会議での具体的な議論内容を通じて、協議会の目的や役割・機能の再確認を行った。</li> <li>○ 定例会の参加者が協議会の役割を再認識して、地域の現状や課題などの情報共有ができるよう、アドバイザーが定例会の場で協議会の役割について講義した。また、定例会で活発な意見交換がされるよう、テーマを絞って議論するよう助言した。</li> <li>○ 地域課題を抽出するため、各部会で来年度のテーマを設定し、計画的に議論を進めるよう年度計画の策定を提案した。各部会の課題について、エビデンスに基づいて議論</li> </ul>		

	<p>した上で地域課題として認定すること、また、運営会議で優先順位をつけ、課題を整理した上で、定例会に諮る仕組みを構築するよう助言した。</p>
<p>派遣の 効果</p>	<p>○ 議論内容やスケジュールの見える化を図ることで、単なる報告だけでなく、活発に議論することが増えた。また、アドバイザーが、定例会議や運営会議において、協議会の目的や役割・機能（協議会は、個別支援から地域課題を抽出して施策化するための手立てであり、そのための仕組みであること）の再確認を行った結果、定例会、運営会議それぞれ構成員等の意識が変わり、目的を持った議論がなされるなど変化が現れた。</p> <p>○ 地域課題については、各部会のテーマ設定、年度計画等を策定するとともに、部会での議論をもとに、協議会の枠組みで解決を図れるよう、地域課題の抽出に至る仕組み作りを行えた。</p>

**大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣 実施状況報告  
(令和4年度派遣決定分)**

<b>羽曳野市</b>		派遣期間	令和4年11月～
目的 派遣	協議会の運営支援、相談支援体制の整備		
当初派遣決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基幹相談支援センターの設置の検討に伴い、地域自立支援協議会の運営体制やその要となる相談支援体制の状況及び今後の方向性を確認することにより、基幹・委託・指定特定の役割分担の明確化と連携を進めるとともに、市の実情に応じた適切な相談支援体制が整備できるよう、地域自立支援協議会の運営を支援する。</li> <li>○ 新任や経験の浅い相談支援専門員を地域で支援するため、アドバイザーが相談支援部会等に参加し、地域自立支援協議会を通じた関係機関のネットワークの構築や身近な地域で職場を超えたスーパーバイズの機会の設置（相談支援専門員のスキルアップ）に向けて、相談支援体制に係る助言を行う。</li> </ul>		
具体的な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年11月、初回の打合せにおいて、市から基幹相談支援センターの設置の進捗状況等を確認した上で、福祉専門職員配置等も含め、基幹相談支援センターの設置に向けての助言等をした。</li> <li>○ 具体的には、単に委託等をするだけでは、基幹相談支援センターとしての機能が十分に果たせないことにもつながることから、協議会等で十分に基幹相談支援センターのイメージを検討し、具体的な業務内容を議論する場が必要であることを助言した。</li> <li>○ 協議会については、立ち上げから一定期間の経過により、協議会の構成員の交代もあり、改めて協議会の目的や役割・機能を再確認する必要があることを提案した。</li> <li>○ また、令和4年12月、市の相談支援体制の現状等（計画相談支援対象者数、協議会の運営状況等）を詳細に聞き取ることであり、地域の状況を把握するとともに、基幹相談支援センター、地域自立支援協議会、主任相談支援専門員との関係等を説明し、今後市の相談支援体制を整理できるよう助言を行った。</li> <li>○ 基幹相談支援センターの設置にあたっては、業務内容として人材育成の部分を第一に考えながら、委託相談支援事業所との役割分担も考えていく必要があることを助言した。</li> </ul>		
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次回、委託相談支援事業所からも相談支援体制、協議会の現状のヒアリングを行い、地域アセスメントを実施する。地域アセスメントから導きだされた相談支援体制等の課題と解決に向けた支援策を提示していく。</li> </ul>		

	<b>泉大津市・忠岡町</b>	派遣期間	令和4年12月～
目的 派遣	協議会の運営支援		
当初派遣 決定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 泉大津市・忠岡町が共同で運営している地域自立支援協議会の参加者全員が主体的に参加し、共通の目標を持って地域課題の解決に取り組んでいけるよう、地域自立支援協議会の目的や役割・機能の理解を促進する。</li> <li>○ 地域自立支援協議会がコロナ禍の影響もあって書面開催が続いており、機能を活用しきれていないため、アドバイザーが実情を把握した上で、基幹相談支援センターの設置を含めた相談体制全体の見直しを図るとともに、地域自立支援協議会の運営方法等について検討を行う。</li> <li>○ また、個別の支援課題を集約・分析し、地域課題を抽出する方法や抽出された課題を解決していけるよう、地域自立支援協議会の仕組みの構築等の助言を行う。</li> </ul>		
具体的な 支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和4年12月、泉大津市及び忠岡町の職員に、協議会の現状、課題及び基幹相談支援センターの設置の進捗状況を確認した。</li> <li>○ 現在の協議会の運営状況を踏まえると、まずは協議会の構成員間で、協議会の目的や役割・機能を再確認する必要があることを助言した。</li> <li>○ さらに、行政や事業所のみで解決できる課題は少なく、地域の課題を解決するためには、地域の関係者と十分議論することができる協議会を活用し、そのネットワークの中で解決をしていくことが重要である旨を助言した。</li> </ul>		
見 通 し 今 後 の	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協議会の開催が十分できていないため、市町の担当職員に協議会運営の具体的なイメージを持っていただく。</li> <li>○ 基幹相談支援センターの設置を検討しているため、その進捗に併せて、協議会運営についての助言や課題の整理を行っていく。</li> </ul>		

### 3 地域自立支援協議会情報交換会

#### ○ 地域自立支援協議会情報交換会の実施

地域自立支援協議会の構成メンバーを対象とした会議において、研修会の実施や好事例の共有・意見交換等を行うことで、課題解決に向けた気づきを促すなど地域自立支援協議会の活性化を目指すために情報交換会を実施している。

今年度、本協議会における「地域における障がい者等への支援体制」の議論の中で、施設入所者の地域生活への移行に向けた支援が論点となっていること、また、第1回情報交換会のアンケートにおいても、施設入所者等の地域移行の取り組みについて意見があったことから、第2回は、「障がい者支援施設からの地域移行」をテーマに情報交換会を実施した。

- 日 時：令和5年2月3日（金）13時30分～16時
- 会 場：大阪府咲洲庁舎 2階 咲州ホール
- 参 加 者：地域自立支援協議会 事務局構成メンバー等（33市町村、約60名参加）
- 内 容：①「障がい者支援施設からの地域移行」（対談形式）

障がい者支援施設と地域との連携の具体的な事例を通じて、利用者の地域移行に向けた取り組みのポイントの理解を目的

<対談者>

東大阪市基幹相談支援センター職員

砂川厚生福祉センターいぶき職員、障がい者自立相談支援センター職員

#### ②情報交換会（8グループに分かれてグループワーク）

テ ー マ：障がい者支援施設からの地域移行

ファシリテーター：各市町村の相談支援専門員等

内 容：各地域の取り組み状況の共有や地域移行における各地域自立支援協議会、基幹相談支援センター等の役割を確認するとともに、障がい者支援施設の利用者（重度知的障がいや強度行動障がいのある人等）の地域移行に向けた課題等を確認した。

## 【アドバイザー派遣 申込状況について】

## ①茨木市

依頼内容の種別	1. 協議会の運営支援 2. 相談支援従事者のスキルアップ 3. その他
具体的な内容	○管内相談支援専門員のスキルアップのため、相談支援部会内で研修を企画しており、その中で5ピクチャーの考え方や具体的な実践例についてご講義いただきたい。 ○継続した人材育成が相談支援部会を中心に市として継続できるよう、主任相談支援専門員の活用や部会運営、人材育成の仕掛けについて助言いただきたい。
支援内容	○茨木市、主任相談支援専門員を交えて、研修に向けた打ち合わせを実施。その際、市の相談支援体制についてヒアリングを行った。 ○茨木市自立支援協議会相談支援部会にて、5ピクチャーズの作成を中心に研修会を実施。相談支援専門員のスキル向上を図った。

## ②和泉市

依頼内容の種別	1. 協議会の運営支援 2. 相談支援従事者のスキルアップ 3. その他
具体的な内容	○個別の課題から地域課題を意識し、解決に向けた取り組みが出来るよう、部会運営の在り方や課題解決に向けた効果的な進め方について助言いただきたい。 ○今後、主任相談支援専門員を担っていくことが期待される、経験年数のある相談支援専門員が、主任相談支援専門員の位置づけや役割を理解できるような仕掛けについて助言いただきたい。
支援内容	○和泉市、基幹相談支援センターを対象に、市内の相談支援体制や自立支援協議会、課題に感じていることについてヒアリングを実施。 ○和泉市自立支援協議会相談支援部会事務局会議へ出席し、相談支援部会の運営や地域課題の抽出について整理を行った。

## ③高槻市

依頼内容の種別	1. 協議会の運営支援 2. 相談支援従事者のスキルアップ 3. その他
具体的な内容	○「相談員の孤立の予防、質の維持・向上」を目的とし、自立支援協議会のケアマネジメント連絡会議において、グループスーパービジョンの実施を検

	<p>討しており、その実施方法について助言をいただきたい。</p> <p>○また、市としてグループスーパービジョンを継続的に実施していけるよう、ケアマネジメント連絡会議の在り方や運営方法について助言をいただきたい。</p>
支援内容	<p>○高槻市、高槻市自立支援協議会相談支援連絡会議メンバーへ、市内相談支援体制及びグループスーパービジョン実施に関するニーズのヒアリングを行った。</p> <p>○グループスーパービジョンの試行実施に向け、高槻市、高槻市自立支援協議会相談支援連絡会議メンバーに対してグループスーパービジョンに関する講義を実施した。</p>